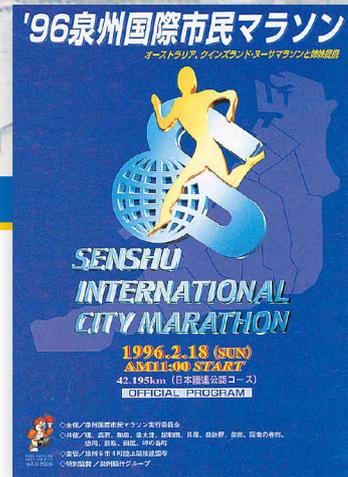


# 泉州国際市民マラソン 第3回大会 1996年(平成8年)

SENSHU INTERNATIONAL CITY MARATHON THE 3th CONVENTIONS



**第3回大会コース**  
大浜公園(スタート)→井原の里→熊取西→貝田交差点→積善橋北→脇浜交差点→沼町交差点→岸和田市中央公園(ゴール)

**2月18日**  
天候: 晴れ  
気温: 9℃  
参加者数: 2,287人  
完走者数: 1,848人  
沿道人数: 49万人

前年度は震災のため、やむなく中止となった泉州国際市民マラソン大会は、地域住民の他、大阪府のみならず近畿・全国にも評判が行き渡り、出場枠の3倍の申し込みがあった。年ごとに参加希望者が増えてきた大会であるが、予備申し込みの段階で、地域性を配慮し、抽選により当選者を決定した。

今回も各市町の友好・姉妹都市より招待された選手が参加し、国際色豊かなマラソン大会となった。

コースは、運営母体の9市4町を極力走路に取り込もうと、大浜公園より井原の里、熊取、貝田を経て、貝塚の積善橋北交差点から岸和田市に戻り、沼町から岸和田市中央公園までのコースとなった。

大会当日は、夜半からの大雪で、開催が危ぶまれたものの、スタート時には自治会や子供会の役員、ボーイスカウト、交通指導員など地元の住民約5千人が「選手のために…」と、走路の整備を行い、予定通り開催することができた。2,500人のランナーは地域ボランティアの温かさの中を沿道の49万人の熱い声援を受け、快適に泉州路を駆け抜けた。しかし、フィニッシュ地点の岸和田市中央公園競技場は、かき分けた残雪で水浸しとなり、ぬかるんだ花道となった。

レースは、招待選手のラッセ・ビレンや中山竹通ら有名選手の参加で豪華な顔触れであった。中山竹通は10kmを過ぎてからは往年のスピードを生かし、前半の貯金とレース経験が生かされ独走のレース展開で、若手の実力ランナー山口賢や第1回大会優勝の桑原和雄をおさえての優勝であった。女子は外国勢をかわし、賀好陽子が力強い走りを見せ、大会新で優勝した。

この大会は、初めて大阪府の友好姉妹提携であるオーストラリアのクイーンズランド州ニューサマラソンと選手の相互派遣する交流がなされた。

ボランティア精神の温かさが早朝の雪を溶かし、まさに「泉州が一つ」になった大会であった。





前夜祭で特別招待選手が壇上で勢揃い

雪が残るコースを力走



声援にこたえながら  
力走する高石ともや

1996年(平成8年) 2月19日付朝刊

### 泉州市民マラソン

## 2千287人春へ疾走

#### 震災振り切り多数参加

#### 白銀舞台 国際色豊かに

「姉妹都市 沿道の声援に感激」

泉州切符取った

だんじり囃子で景気づけ

1996年(平成8年) 2月19日付朝刊



優勝  
第3回大会

男子  
陸上部監督  
大塚産業大学

中山竹通

女子  
大塚製菓  
賀好陽子

